

## タカタ製エアバッグのリコールに関わる情報 Up Date

### 【お客様へのお願い】

米国において、タカタ製エアバッグを搭載したリコール未実施の弊社車両で運転席エアバッグの異常破裂が報告されました(2名死亡)。これを受け米国市場において運転停止要請が発出されるとともに、NHTSA からもリコール改修を促すべく、2022年11月3日に注意喚起が行われたところです。日本市場においても、厳重に受け止め、本リコールを再周知いたします。

リコール作業がお済みでないお客様は、早急に最寄りの弊社正規ディーラーネットワークにご相談のうえ、リコール作業(無料)の入庫をお願い申し上げます。

### ■ 運転席側エアバッグについて:

- 外 2212(2015年07月31日届出) ⇒ [詳細](#)
- 外 2635(2018年03月30日届出) ⇒ [詳細](#)

#### ➤ 国土交通省届出内容

運転者席側エアバッグのインフレーター(膨張装置)において、エアバッグ展開時にインフレーター内圧で容器が破損して構成成分が飛散し、乗員が負傷するおそれがあることから、全車両、運転者席側エアバッグのインフレーターを年式の古いものから順次代替品と交換する。

※ 対象リコール有無の確認は下のボタンから確認できます

対象リコールの確認はこちら

### ■ 助手席側エアバッグについて

- 外 2418(2017年01月27日届出) ⇒ [詳細](#)
- 外 2634(2018年03月30日届出) ⇒ [詳細](#)
- 外 2775(2018年02月05日届出) ⇒ [詳細](#)

#### ➤ 国土交通省届出内容

助手席用のエアバッグのインフレーター(膨張装置)において、ガス発生剤の吸湿防止が不適切であった場合、高い湿度の環境下で大きな温度変化を繰り返すと、ガス発生剤が劣化することがある。そのため、エアバッグ展開時にインフレーター容器が破損するおそれがあることから、全車両、助手席用エアバッグのインフレーターを対策品と交換する。

※ 対象リコール有無の確認は下のボタンから確認できます

対象リコールの確認はこちら